

「の～りんの小窓」

第14枠 『長島神社のクスノキ』

尾鷲農林水産商工環境事務所の「の～りんの小窓」によろこそ。
このコーナーでは、紀北町・尾鷲市内の出来事や情景などを紹介しています。



今回は、紀北町紀伊長島区の長島神社境内にある「クスノキ」です。

しめ縄が巻かれた幹には長い年月を経た証拠である縦のしわが入り、その樹瘤は「安らかに眠る赤ん坊の寝顔」のように見えると言われています。

このクスノキのお陰なのか、境内では秋の陽だまりの中で穏やかな時が流れていました。

長島神社は、紀北町の紀伊長島総合支所から北東へ10分ほど歩いたところにあります。境内の森は昭和38年に三重県の指定天然記念物に指定され、見事なクスノキが他にも数本あります。神社の裏山を少し登ると、長島湾を見下ろせる展望スポットがあります。

本年11月には、20年に一度の社殿改修を祝う「御造営奉祝祭」が周辺で行われ、手づくりみこしや道中踊りが披露されました。